

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年3月22日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部・国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年3月1日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	イタリア
留学先大学	ヴェネツィア大学(日本語名) Ca' Foscari University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語・イタリア語/英語
留学期間	2025年9月～2026年3月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月～2月末 2 学期: 4月～7月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	人
創立年	年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (€) (1 現地通貨 = 184 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	2600	円	
食費	1627	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	60	円	10€/月
現地交通費	125	円	バスの定期代 25€/月 (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	1085	円	
被服費	約 300	円	
医療費		円	
保険費		66730 円	形態: 東京海上日動
渡航旅費		275000 円	
ビザ申請費		円	
雑費	約 100	円	日用品
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	5897 (=1086747 円)	341730 円	1€=184 円換算
総計(A+B) ※円		1428477 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的に日が落ちてからは外に出歩かないようにしました。冬になってからは日没が早かったので、積極的に友人と一緒に帰るようにしました。ただ、バス停から非常に近い家だったのもあり、危険に遭うことはありませんでした。危険な通リや場所の情報は、現地の友人や日本人留学生から聞くようにしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地に住んでいる日本人の方のお勧めで、Iliad という会社のサービスを使用しました。ヴェネツィア本島はもちろん、EU圏の他国でも接続に困ることはなかったです。なにより格安かつギガの量も豊富で快適でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的に日本で使用していたクレジットカードのタッチ決済で生活していました。引き落としの際に日本の銀行口座に振り込んでもらっていました。日本の携帯電話の番号が使えないので、ネット上の決済には一苦労しましたが、困ることはほぼなかったです。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

電子レンジでご飯を炊ける器と、軽いプラスチック製の食器です! お米をすぐに炊ける環境は大切だと思います。また、日々の食器洗い等が楽になったので、百均などで手に入る器は重宝しました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21(6 単位分はテスト登録できなかった)単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
History of Venice		
科目設置学部・研究科	SIE	
履修期間	9~12 月	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	SCURO Rachele	
授業内容	中世から近代にかけてのヴェネツィアの歴史	
試験・課題等	筆記試験	
感想を自由記入	教授の英語が聞き取りづらく難しかったが、自分でしっかりと復習をしてテスト対策さえすれば、内容自体は身につくと思います。勉強習慣を定着させるのに非常に有効な授業だったと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
History of Design of Glass in Venice	
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	9月～12月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・フィールドワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Cristina Beltrami
授業内容	Venetian glass の歴史について
試験・課題等	レポート・筆記試験
感想を自由記入	Venetian glass の一つ一つの作品の特徴や、その背景にある文化などを多角的に学ぶことができ、興味深かったです。それぞれの作者の作風も学び、その学びを実際に美術館などの鑑賞に結び付けることができ、非常に有益な授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Venetian Art and Archaeology-1	
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	10月～12月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・フィールドワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Myriam PILUTTI NAMER
授業内容	芸術から派生するヴェネツィアの様々な歴史について
試験・課題等	レポート・筆記試験
感想を自由記入	個人的には、この授業が一番楽しかったです。本島にある歴史的な教会や、貴族の邸宅などに行き、教授の解説を聞くことができました。筆記試験では、芸術に関してというよりも、その背景にある様々な歴史について問われました。SIE の他の授業と合わせて取ることで、理解が深まる興味深い授業だったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
OKINAWAN STUDIES: Language, Culture, History	
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～2月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	プレゼン・ディスカッション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	
授業内容	OKINAWANの歴史について、多角的な視点からの分析を各班発表する
試験・課題等	論文・口頭試験
感想を自由記入	日本で学ぶ沖縄戦と、イタリア人が学び語る沖縄戦との違いが顕著で、海外で日本史を学ぶことの大切さを学びました。私はテスト登録がうまくできておらず、単位認定してもらえなかったため、皆さんは気をつけてください。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Practicum/Stage: Japanese Language Support Internship Program	
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～1月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	自由会話(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が3～4回
担当教授	
授業内容	日本学科の自由会話の授業のボランティア
試験・課題等	毎回のフォーム提出
感想を自由記入	毎年日本の留学生の数が多くが参加する、日本語学科の自由会話のボランティアです。既定の時間数以上参加すれば単位認定される可能性があります。ここで沢山の時間を共にした現地の友人ができたので、ぜひぜひ参加してみてください。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学試験の勉強
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	留学先決定
	4月～7月	イタリア語の勉強・ビザ申請・航空券購入・滞在先確保
	8月～9月	ビザ取得
	10月～12月	期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

この大学は、友人を作って交流を深めたい人には非常に最適な留学先だと思います！上記の通り、日本語学科の自由会話という授業(スピーキングのような授業)のボランティアに参加することで、イタリア人の友人や気の合う日本人の友人を見つけることができます。私の場合は、複数人のイタリア人の友人が実家に招待してくれたり、イタリアの文化を間近で学ぶことができました。その友人たちが次は日本に留学しに来るので、1年後までは確実に交流できるのが個人的にはとても良い出会いだったと思います。また、イタリア人の友人だけでなく日本人の友人も留学生活で大切だと感じていて、多くの日本人留学生在いるこの大学では、自分と気の合う友人を見つけられるので、とても良い環境でした。

ただ、この体験記を読んでいる方の中には、英語圏ではないためにこの大学にするかどうか迷っている人も多いかもしれません。私も実際迷いました。ただ、イタリア人の友人との会話は、日本語とイタリア語も使いつつ、英語ベースで行っていたので、個人的にはスピーキング力は以前より向上したと思います。また、EU圏内なので、沢山の国に格安で旅行することができます。そこで英語を使用することもありましたし、1人で海外を旅する中で得た経験もかけがえのないものでした。何より、この留学を機にイタリア語を勉強するようになり、まだまだ未熟ではありますが、自分の個性を得ることもできて、将来の人生設計に新たな選択肢ができました。なので、「語学力の向上だけでなく、経験としての留学をしたい！」という方にはおススメの留学先です。そのうえ、ヴェネツィアという世界遺産の中で、学生として生活することは本当に貴重すぎる体験だと思います。自分の専攻を学びつつ、沢山の歴史的な遺産に触れたり、世界的な観光地の現地の方の視点を学んだり…本当に貴重な環境だと思います。ぜひ、検討してみてください！